学校だより
ゆめは大きく

尾張旭市西の野町５丁目１番地 https://www.owariasahi.ed.jp/asahi-e/

尾張旭市立
旭小学校
第８号
令和８年
１１月２５日

TEL 0561-53-2035

「じゃんけん」が教えてくれる、みんなの違いと尊重の心



めっきり寒くなり、早いもので今年も締めくくりの季節となりました。日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、12月４日から10日までは「人権週間」です。人権というと少し難しく聞こえるかもしれませんが、実は、私たちが日常何気なく行っている「じゃんけん」の中にも、人権や多様性について考えるヒントが隠されています。

● 違いがあるからこそ、成り立つ

じゃんけんには「グー」「チョキ」「パー」の３つの手があります。どの手にも絶対的な「最強」はありません。グーはチョキに勝ちますが、パーには負けます。それぞれに違いがあり、その違いがあるからこそ、じゃんけんは成り立つのです。

これは、私たちの学校生活にも通じます。勉強が得意な子、運動が得意な子、発想が豊かな子、友達に優しい声をかけられる子など、一人一人に違ったよさがあります。もちろん、得意なこともあれば、苦手なこともあります。考え方や感じ方も人それぞれです。

大切なのは、**自分と違うことを否定するのではなく、「そういう考え方もあるんだ」と受け止め、互いのよさを認め合うこと**です。そして、忘れてはならないのは、得意なことがあるから価値があるのではなく、一人一人がかけがえのない存在だということです。自分も友達も、誰もが大切にされるべき存在なのです。

■「みんなちがって、みんないい」学校へ

金子みすゞさんの詩に「みんなちがって、みんないい」という有名な言葉があります。自分と違う考えや特徴をもつ友達を排除したり、無理に自分と同じにしようとしたりするのではなく、互いの違いを認め、尊重し合える関係を築いていきたいものです。

本校が目指す「子どもが自走できる学校」とは、一人一人が自分らしさやよさを大切にしながら、仲間と認め合い、力を合わせて新しいものを創り出していく学校です。

友達の話を最後まで聞くこと、相手の気持ちを想像すること、困っている人に声をかけること。そんな日々の小さな行動の積み重ねが、誰もが安心して過ごせる学校につながります。

ご家庭でも、この人権週間をきっかけに、お子さんと「友達の素敵なところ」や「自分と違うところ」について話してみてはいかがでしょうか。

「みんな違っているからこそ面白い。そして、みんな大切な存在」。そんな思いを、子どもたち、保護者の方々、教職員みんなで共有していきたいと思います。

校長　岩下　徹